



冬の自然観察会

楽しく！おいしく！

神の子池 自然の厳しさを学ぶ

3月4日（土）、神の子池（清里町）で27名（含む常呂川FC2名）が参加して冬の自然観察会を行いました。

神の子池は、周囲220m、水深5mの小さな池で、一日12,000tの摩周湖の伏流水と言われている水を噴き出しており、2017年に阿寒摩周国立公園に編入されましたが、冬期間は道路が閉鎖されており、歩いて行くしかありません。



参加者は、スノーシューで4班に分かれてスタート、往路は新雪を踏みしめ、トドマツとエゾマツの見分け方、凍裂、ツルアジサイなど植物の生きる知恵をガイドから聞きながら森林の中を進みました。

お昼には、会員の小畑さんからイタヤカエデの樹液（煮詰めるとメイプルシロップになる）の差し入れもあり、楽しく、おいしく、歩みを進めると神の子池に到着です。

復路は多くの人に踏み固められている林道でしたが、昨年12月の大雪・湿雪で折れたり、曲がったりしている木がたくさんあり、自然の厳しさを感じさせられました。

散策途中には青空もありましたが、神の子池に着いた時には少し雪模様、道の駅でも秀峰斜里岳は雲の中・・・。

次回リベンジを誓いながら、お土産（清里産野菜等）を手にバスに乗り込みました。

【参加者多数のため氏名省略】

<小島>

冬の自然観察会

楽しかった！冬の森

夏しか訪れた事がなかった神秘的な色をした神の子池、冬はどんな様子なんだろうと興味津々でした。

雪の積もった森の中、リーダーに遅れないようにと緊張しながら歩き始めます。

慣れてくると、森の風景や鳥のさえずりにも耳を傾ける余裕ができ、休憩しながら解説していただいた樹木の生命力に感心したり、動物の足跡の違いを教えていただいたり…。

リュックを下して後ろ向きに雪の中に記念ダイブ、人型の完成！

見上げた空がちょうど青空で気持ちよかった～。

途中の陰しい下りは、お尻で滑り降りて、何とも楽しいアドベンチャー、冬の楽しみといえばスキーぐらいしか思いつかなかった過去の自分を悔みました。

たどり着いた神の子池は、ひっそりと凍らずに雪が降っていても青々とその姿を現しました。

道中でいただいた手あみの【ブジカエル】と貴重な自家採集の【カエデ樹液】、優しい甘さが疲れを癒してくれました。

超ビギナーな私にもわかりやすい解説と安全に気を配っていただき、ご同行の皆様に大変親切にいただきました。

ありがとうございました。

＜倉本ひと恵＞



冬の自然観察会

スノーシュー 楽しい！



粉雪の中、スノーシューを装着して小島さんガイドのもと、冬芽や木々の特徴を聞きながら神の子池に向かいました。

森林内での昼食時にカエデの樹液をおいしく頂き、元気が出ました。

初めてのスノーシューはとても楽しかったです。機会があればまた参加させてください。

大変お世話になり、ありがとうございます。

＜畠山由利子＞



自然に学び隊

少しでも

安全に楽しく勉強に！

2月20日（月）、16名（含む常呂川FC2名）の参加により、冬の自然観察会（神の子池）の下見を兼ねて自然に学び隊活動を行いました。

バスの上下車地点と安全確認、散策開始場所、ルート、ガイドポイント（ネタ）、所要時間、昼食場所 etc・・・確認事項は盛り沢山、その一方でしっかりと自然を楽しまなくてはなりません。

前日からの雪で、森林の中はふかふかの新雪、スノーシューのありがたみ、森林の神秘的な魅力を感じます。

ただし、動物の足跡は雪の下・・・あれも、これも、とは行きません。

「ツルアジサイは6～7月に開花するが、冬までそのまま付いている。積雪の上に落ちた花序（花・実の集まり）は、風で固雪の上を転がり、融雪が進み根開きしている木の根元で止まり、そこで発芽するとすぐに登ることができる。」などのネタ（知識）も仕入れながら進みます。

神の子池の少し手前にある小川渡りが会の高齢者（？）集団（失礼！）には少し厳しいことから後日、倒木を利用した仮橋を作りました。

観察会が、安全に、楽しく、少し勉強になるように、それが自然に学び隊活動です。

＜吉田＞



なるほどクイズ

（答えは会報のどこかに…）

今回は「木」ヘンに関する問題です。すべて木の名前ですので「気（木）が変（偏）になる」などと言わずにチャレンジしてください。

- ① 朴 ② 柏 ③ 栓 ④ 楓 ⑤ 檜 ⑥ 樺 ⑦ 榛 ⑧ 槐 ⑨ 漆 ⑩ 榆



研修会 & 第 16 回総会

ヒグマ事故防止のために

3月12日（日）、北網圏北見文化センターで会員17名の参加により、研修会および第16回総会を行いました。

研修会は、知床財団近藤氏から「ヒグマの生態と共存の道」をテーマに講演を受けました。

ヒグマ（野生動物）の行動は、基本的に生きる（食べる）ための行動であり、主として草食であること。春・夏・秋・冬、季節ごとの行動、子育て、威嚇行動などについて講演を受けました。



そして、人間とヒグマが同一空間・同一時間に生活することは不可能であり、危害防止のためには、人間の存在を知らせる（音を出すなど）、人工的な味を教えない（エサをやらない、ゴミを捨てないなど）、人間の生活域と区分する（大型草本を刈り払うなど）の対策を行うことが必要と話されました。



午後からの総会では、「こども探検隊の安全対策は大丈夫？」との質問があり、「親から一緒に参加できないかという声もあるが、自主性を育てる目的からお断りしている。スタッフ確保を含め、次回の実施に向け検討」としました。

また、財政関係で助成金についての質問があり、助成団体の決算期間と当会の決算期間が異なることから予算・決算の差が生じているとの説明がありました。

なお、新役員は次頁の通りです。

新役員で～す

3月1日入会、ピカピカの新会員なのですが、事務局長を担うことになりました。

10年間、常呂川FCの職員として会の皆さんにお世話になってきましたが、これからは、違う立場でお世話になります。

何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願いします。

近藤光栄



新役員体制

顧問	鞘師 守
会長	吉田 昭義
副会長	渋谷 朝美
〃	小島 愼
事務局長	近藤 光栄
幹事	長谷川 秋夫
〃	植村 之彦
〃	小原 励
〃	小山 穂積
〃	大戸 香
〃	細坂 佳秀
〃	秋田 直美
監査	小林 洋幸
〃	轡田 恵美

若いころからアウトドアが好きで、キャンプ、釣り、スキューバー、登山、山菜採り、色々やってきました。

3年ほど前に「オホーツクの会」のことを知り、もっと山のこと、木の名前や植物を知りたく入会しました。

まだまだ皆さんから教えていただくことが一杯ありますが、よろしくお願いします。

細坂佳秀



年に何回かのイベントに参加させていただき、名ばかりの会員でしたが、このたび、新役員のお話をいただきました。

森林の役割や大切さをまじめに、楽しく勉強していきたいと思いますので皆さんのご指導をよろしくお願いします。

秋田直美



今総会で退任された角さん、阿部さんお疲れ様でした。そして、今日までのご指導ありがとうございました。

今後とも、変わらぬ（今まで以上の）ご協力をお願いします。

【なるほどクイズ】 答え



いくつ読めましたか？
読めなかったからと悲観することはありません。（全て読めた方は大いに自慢してください）

それでは答えです。

- ①朴 ホオ ②柏 カシワ ③栓 セン ④楓 カエデ ⑤櫨 ナラ
⑥樺 カバ ⑦榛 ハン ⑧槐 エンジュ ⑨榛 ウルシ ⑩榆 ニレ

北海道の森づくり交流会 & 団体助成贈呈式

オホーツクの会

コープさっぽろ

一緒にできることない？



2月22日（水）、コープさっぽろ北見地区本部（端野）で北海道の森づくり交流会 & 団体助成贈呈式（主催：コープさっぽろ未来（あした）の森づくり基金）が行われ、吉田（昭）、渋谷、小島の3名（常呂川FC1名）が参加しました。

会議は、全道8会場をZOOM（インターネット回線）で結んで行われ、高額助成を受ける2団体から活動報告を受けた後、助成金（目録）贈呈式が行われました。

その後の交流会では、吉田会長から会の活動を報告し、コープさっぽろ北見地区委員会理事の皆さんと意見交流、会で実施している化粧炭づくりやFC主催の山菜教室（森林の魅（味）力を感じよう！）、共催のこども探検隊に興味を示していました。

オホーツクの会の活動との連携なども話題となり、会（常呂川FC）の活動への参加（会加入）のきっかけになればと思います。

なお、コープ未来の森づくり基金からの助成は、2年連続（3回目）となり、有効活用させていただきたいと思います。

<小島>



新型コロナの発生状況等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、できるだけメール h_tokoro_f@maff.go.jp (常呂川 FC アドレス) をお願いします。

<イベント名、氏名(カナ)、住所、郵便番号、生年月日、連絡先> (様式は任意)

○第1回森いく活動

日時 2023年 5月9日(火) 9:30~
場所 森の家集合
内容 森の家周辺の環境整備他
持ち物 作業・森林散策できる服装、飲み物、マスク等、(昼食なし)
申込み 5月2日(火)まで



(アドレス表示)

森いく活動は、5~10月の第2火曜日および必要に応じて実施します。

○第2回森いく活動

日時 2023年 5月26日(金) 9:30~
場所 森の家集合
内容 「森林の魅(味)力を感じよう!」準備他
持ち物 山菜採取できる服装・装備、昼食、飲み物、マスク等
申込み 5月19日(金)まで

○森林の魅(味)力を感じよう! (主催: 常呂川 FC)

日時 2023年 5月28日(日)
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9:00 (受付 8:30~)
場所 オホーツクの森(森の家周辺)
内容 山菜・野草を通して森林の魅力を感じ、森林の恵みに感謝しよう
持ち物 山菜採取できる服装・装備、昼食、飲み物、マスク等
参加費 300円(保険料、材料費等)
申込み 5月12日(金)まで
募集定員(20名)を上回った場合は抽選

○森林づくり塾（第1回）（主催：常呂川FC）

日 時 2023年 6月4日（日） 9：30～
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9：00（受付8：30～）

場 所 オホーツクの森

内 容 森林づくり（生育調査）と森林散策他

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等

参加費 200円（保険料等）

申込み 5月25日（木）まで
定員（20名予定）を上回った場合は抽選

○第3回森いく活動

日 時 2023年 6月13日（火） 9：30～

場 所 森の家集合

内 容 森の家周辺の環境整備、「ふれあいの森」活動他

持ち物 作業・森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等

申込み 6月6日（火）まで

○オホーツクの森林づくり（共催：常呂川FC）

日 時 2023年 6月25日（日） 9：30～
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9：00（受付8：30～）

場 所 オホーツクの森

内 容 森林づくり（カミネッコン植樹箇所の保育活動）を通じて自然を感じる

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等

参加費 200円（保険料等）

申込み 6月15日（木）まで
定員（20名予定）を上回った場合は抽選

○夏の森林散策会

日 時 2022年 7月2日（日）
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 8：30（受付8：00～）

場 所 チミケツブ湖畔

内 容 森林散策・自然観察を通じて、森林の果たす役割を学び、森林の魅力を感じましょう。

持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等

参加費 200円（保険料等）、一般参加者は1000円

申込み 6月22日（木）まで
定員（40名予定）を上回った場合は抽選

○散策会の下見を兼ねた「自然に学び隊」活動（６月１９日予定）を行いますので希望者は事務局まで連絡願います。

集合 ８：１５

（打合せ ８：１５～８：３０）

出発 ８：３０

申込み ６月９日まで

持ち物 昼食、飲み物。マスク等

○第４回森いく活動

日 時 ２０２２年 ７月１１日（火） ９：３０～

場 所 森の家集合

内 容 森の家周辺の環境整備、「ふれあいの森」活動他

持ち物 作業・森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等

申込み ７月４日（火）まで

隊員募集します！

◆自然に学び隊	隊 長	吉 田 昭	義 暉
◆炭づくり隊	隊 長	小 島	美 夫
◆クラフト研究隊	隊 長	渋谷 朝	夫 励
◆竹とんぼ隊	隊 長	長谷川 秋	香 彦
◆身体動かし隊	隊 長	小 原	栄
◆色いろ食べ隊	隊 長	大 戸	
◆活動広め隊	隊 長	植 村 之	
◆山歩き隊	隊 長	近 藤 光	

重複参加も OK です

隊活動の車代・保険等については、原則自己負担です。（会の活動等と合わせて行う場合は別です。）

入隊を希望する者は、「希望する隊、氏名」を事務局まで連絡願います。（随時受付）

人事異動（常呂川森林ふれあい推進センター）

4月1日付及び3月31日付で、常呂川森林ふれあい推進センターの人事異動がありました。

所 長

高橋好明 北海道森林管理局へ
荒谷和弘 後志森林管理署より（北見事務所長兼任）

自然再生指導官

根津浩幸 網走南部森林管理署より

行政専門員

磯野一浩 退職
近藤光栄 退職

常呂川森林ふれあい推進センターの顔ぶれが一新されることになりました。

転出者（所長）、退職者（磯野さん、近藤さん）の皆さんには大変お世話になりました。

新任地における活動ならびに退職後の生活、身体に留意されることを祈念します。

4月1日付けで北見事務所兼常呂川森林ふれあいセンター所長を命じられました荒谷和弘です。「オホーツクの会」皆様には、当センターの業務運営にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

初めてのオホーツク管内、楽しく仕事をしていきたいと思えます。夏は、山登り、ソロキャンプ。冬は、スキーと体を動かすこと、遊ぶことが好きです。よろしくお願いします。



荒谷センター所長



根津自然再生指導官

年は重ねていますが・・・新人です

これからよろしくお願いします

この春よりお世話になる自然再生指導官の根津と申します。

この仕事に就くのは初めてで右も左もわからない状況です、これからいろいろ教えてください。

木々に関するつぶやき

【スプリング エフェメラル】

直訳すると「春の妖精」、フクジュソウ・エゾエンゴサク・カタクリなど早春の花の総称。

ほとんどの植物は、光合成をすることで生命を維持し繁殖する。そして、多くの光を求めて、高さを伸ばし、葉を広げ競う。

しかし、彼（彼女）らは違う道を選んだ。他の植物が芽生え、葉を広げる前に、林床に届く早春の光で花を咲かせ結実、夏には地中に姿を消し、翌春の雪解けを待つのだ。



会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



— 納入方法 —

- ・ 会が主催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の口座（ゆうちょ銀行）に振り込む（手数料がかかります）

ゆうちょ銀行（郵便局）から振り込む場合

【記号 19960 番号 08073231】

他の金融機関から振り込む場合

【店名 九九八 店番 998 普通預金 口座番号 0807323】

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 メール h_tokoro_f@maff.go.jp